

トンネル建設工事の統計資料

平成28年11月30日

平成28年度第1回トンネル建設工事の切羽付近における作業環境等の改善のための技術的事項に関する検討会

全国のトンネル箇所数と今後の展望

トンネル現況総括表

表74-1

(単位:箇所, m)

延長区分 道路種別		100m	100m～	500m～	1000m～	3000m～	5000m～	10000m	合計
		未満	500m未満	1000m未満	3000m未満	5000m未満	10000m未満	以上	
高速自動車国道	箇所	17	359	269	300	37	5	2	989
	延長	1,227	108,155	192,560	506,842	140,415	33,208	21,720	1,004,127
一般国道 (指定区間)	箇所	145	748	309	227	22	1	-	1,452
	延長	9,420	200,274	216,669	365,460	84,146	9,547	-	885,516
一般国道 (指定区間外)	箇所	432	1,362	397	237	19	3	-	2,450
	延長	27,563	348,328	276,630	365,556	70,839	17,635	-	1,106,551
一般国道	箇所	577	2,110	706	464	41	4	-	3,902
	延長	36,983	548,602	493,299	731,016	154,985	27,182	-	1,992,067
主要地方道	箇所	337	895	227	96	5	-	-	1,560
	延長	19,330	220,609	156,189	140,960	17,919	-	-	555,007
一般都道府県道	箇所	322	564	98	55	3	-	1	1,043
	延長	17,498	133,714	67,456	80,947	9,881	-	10,223	319,719
都道府県道	箇所	659	1,459	325	151	8	-	1	2,603
	延長	36,828	354,323	223,645	221,907	27,800	-	10,223	874,726
国・都道府県道	箇所	1,236	3,569	1,031	615	49	4	1	6,505
	延長	73,811	902,925	716,944	952,923	182,785	27,182	10,223	2,866,793
市町村道	箇所	1,355	1,099	121	28	4	1	-	2,608
	延長	65,938	240,472	81,257	42,868	14,387	7,767	-	452,689
一般道路	箇所	2,591	4,668	1,152	643	53	5	1	9,113
	延長	139,749	1,143,397	798,201	995,791	197,172	34,949	10,223	3,319,482
合計	箇所	2,608	5,027	1,421	943	90	10	3	10,102
	延長	140,976	1,251,552	990,761	1,502,633	337,587	68,157	31,943	4,323,609

(注) 東日本大震災の影響により、市町村道の一部に平成26年4月1日以前のデータを含む。

凡例:1:平成26年4月1日現在の数値である。ただし、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県においては、市町村道の一部に平成26年4月1日以前のデータを含む。

2:延長の単位はメートルである。

3:トンネルが二つの都道府県および政令指定市にまたがる場合は、当該トンネルを管理する都道府県(指定市)に、両都道府県(指定市)で管理する場合は、協議によりいずれか一方の都道府県(指定市)に、また、2都道府県以上にわたって管理区域を有する場合のトンネルについては延長の長い方の都道府県(指定市)に計上している。

種類	箇所数	延長(m)
鉄道	4,899	3,832,606
民鉄	(1,250)	(1,445,502)
JR	(3,649)	(2,387,104)

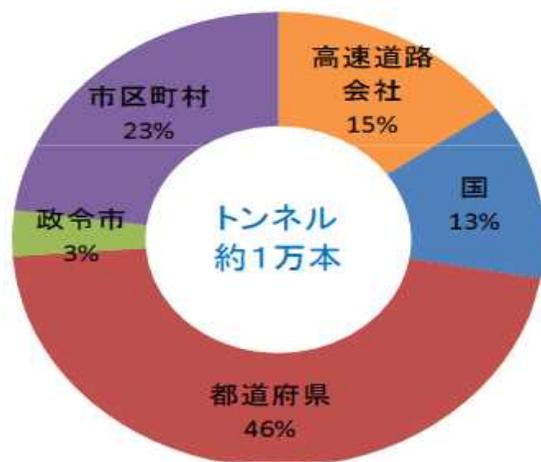
出所:国土交通省
「2015道路統計年報」、
「鉄道統計年報(平成25年度)」1

道路構造物の現状(トンネル)

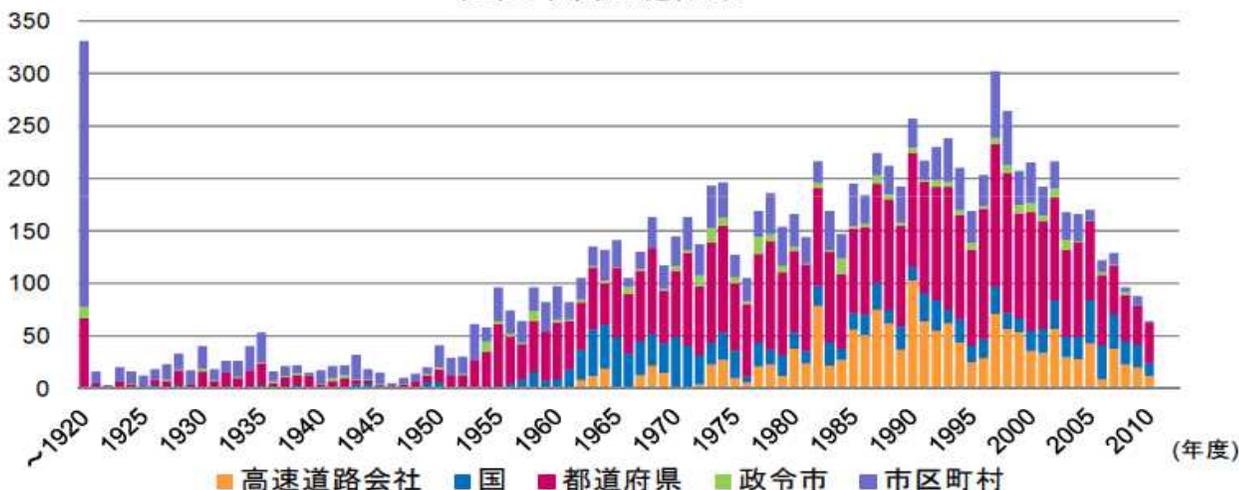
※都道府県・政令市は、地方道路公社を含む
※H25.4道路局集計

全国のトンネル数は約1万本。このうち、建設後50年を超えたトンネルの割合は、**現在**は**20%**であるが、**10年後には34%、20年後には50%**へと増加

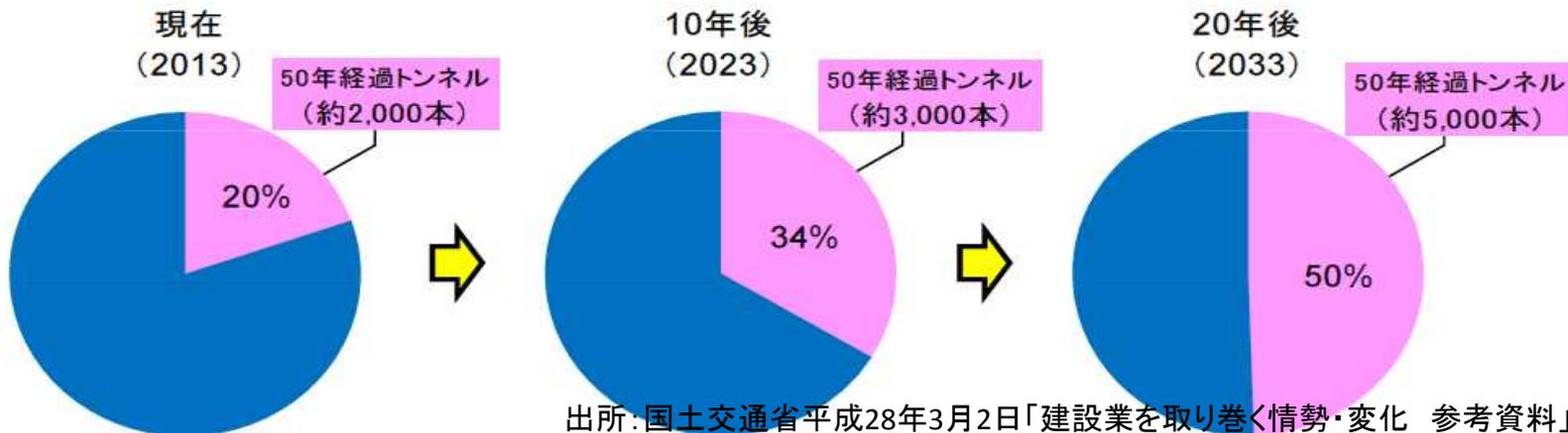
道路管理者別ごとの施設数



建設年度別施設数



50年経過施設の割合
※建設年度不明を除く



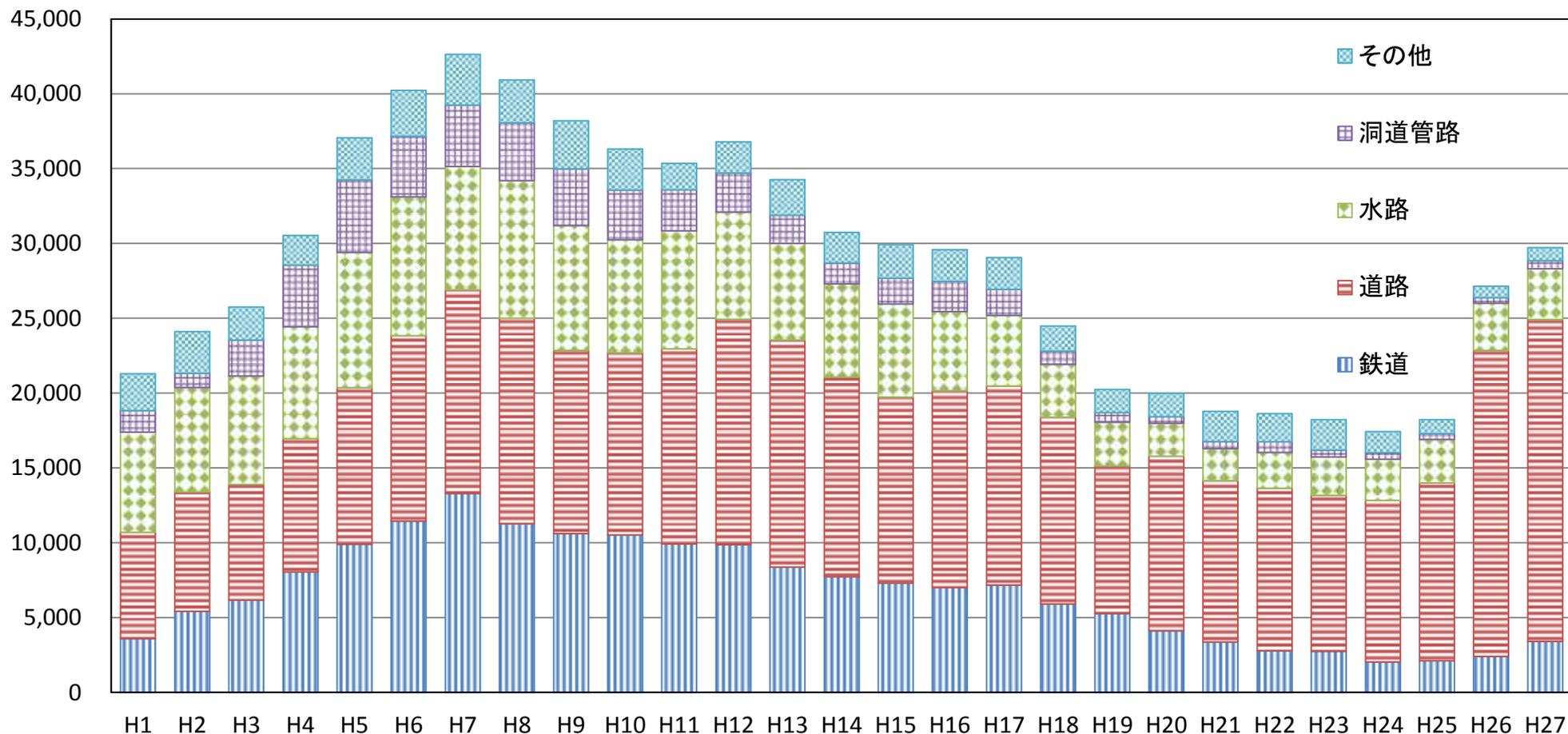


図-2 国内工事量の推移(手持ち請負額-地下街等を除く)
※以下手持ち請負額を単に請負額と示す。

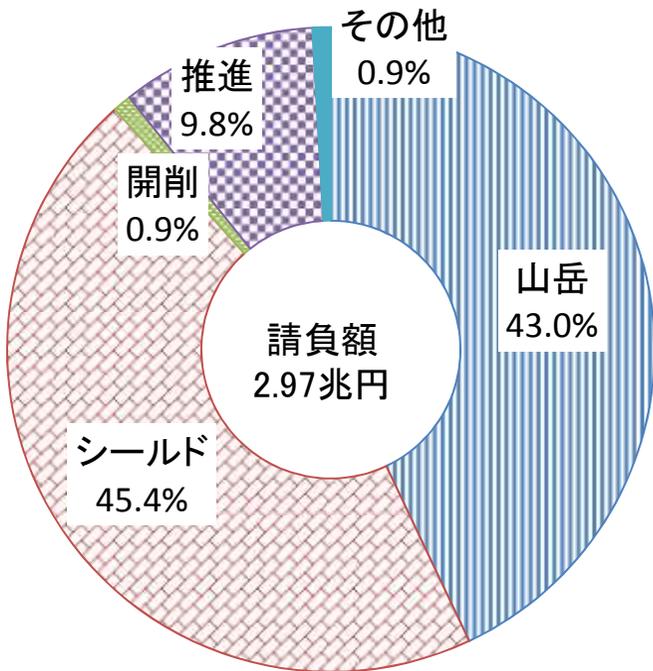


図-14 施工法別比較(手持ち請負額)

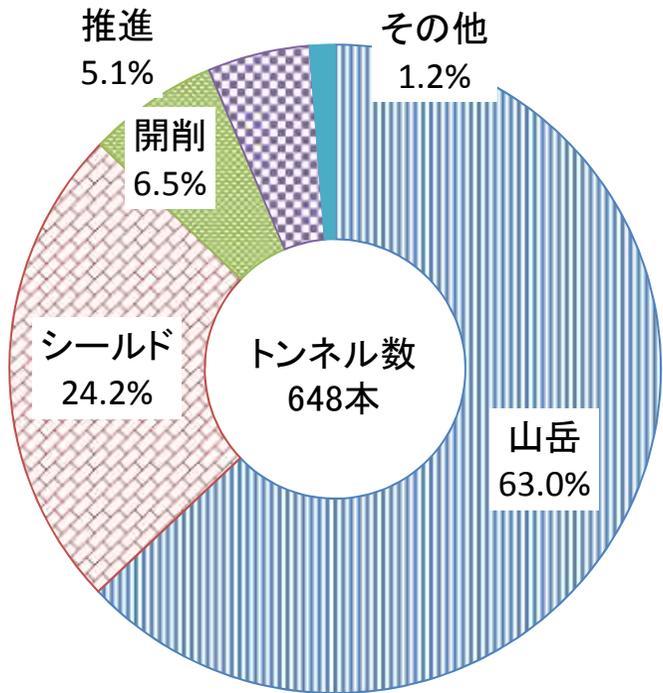


図-15 施工法別比較(トンネル数)

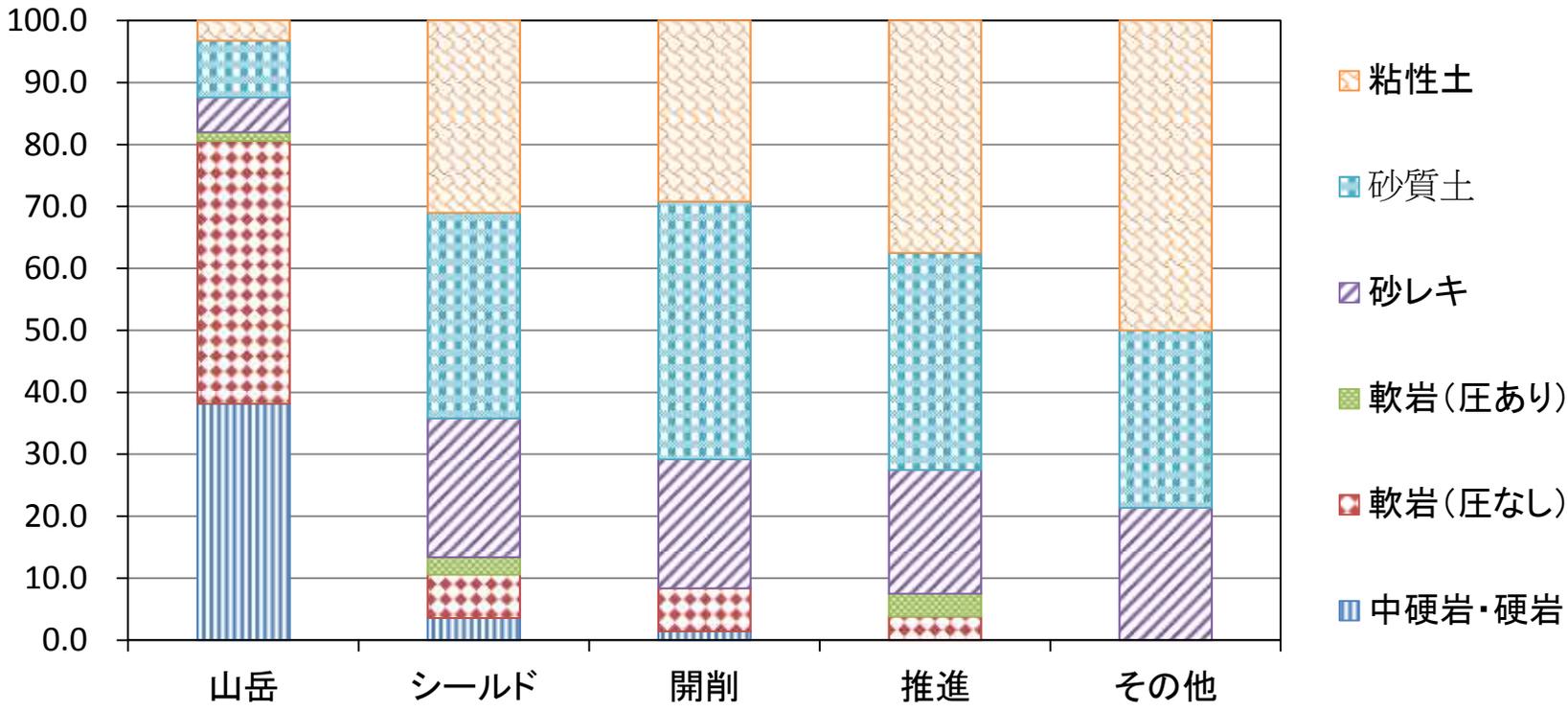


図-22 掘削工法と地質(複数回答)

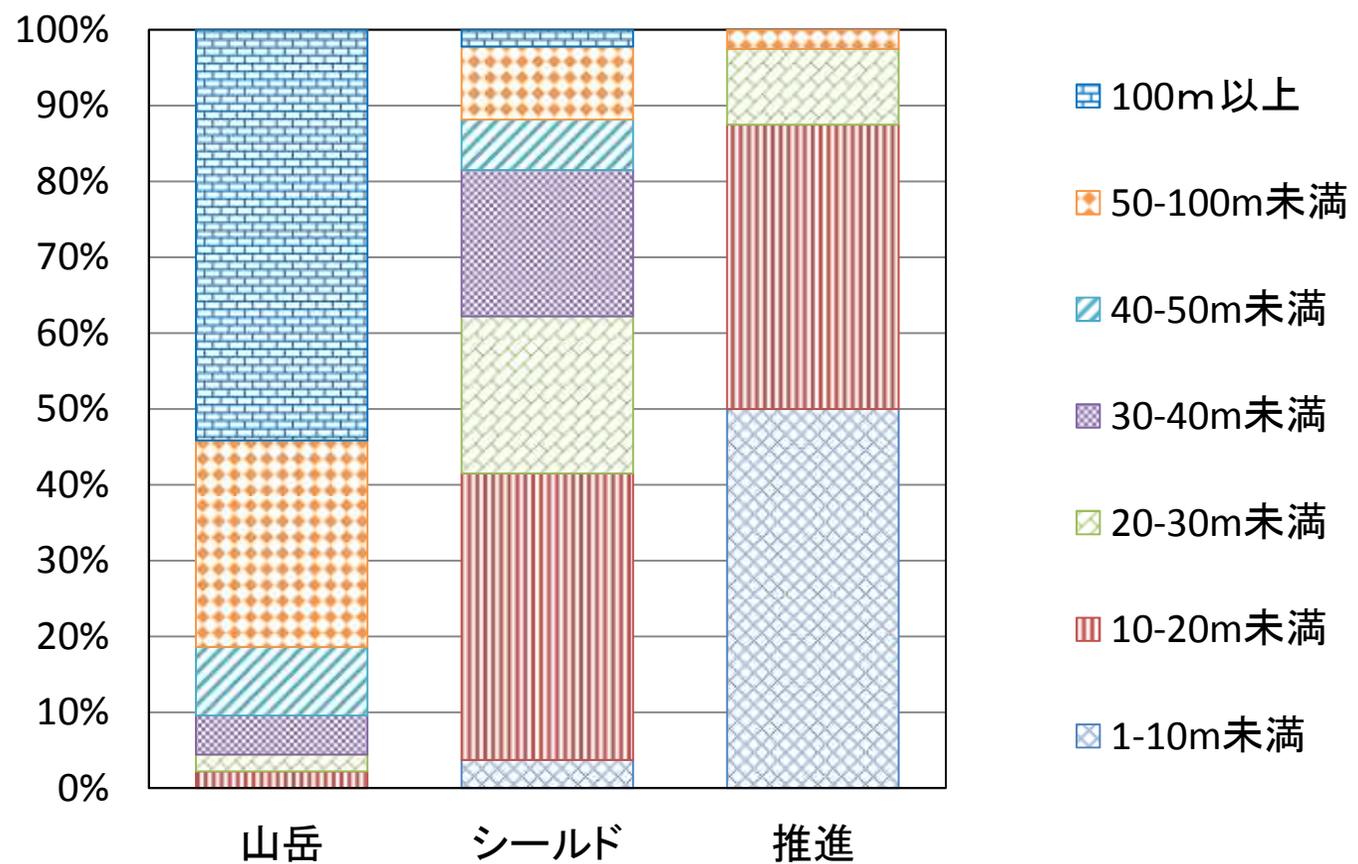


図-26 掘削工法と土被り(回答分の比率)

トンネル建設工事の安全に関する統計

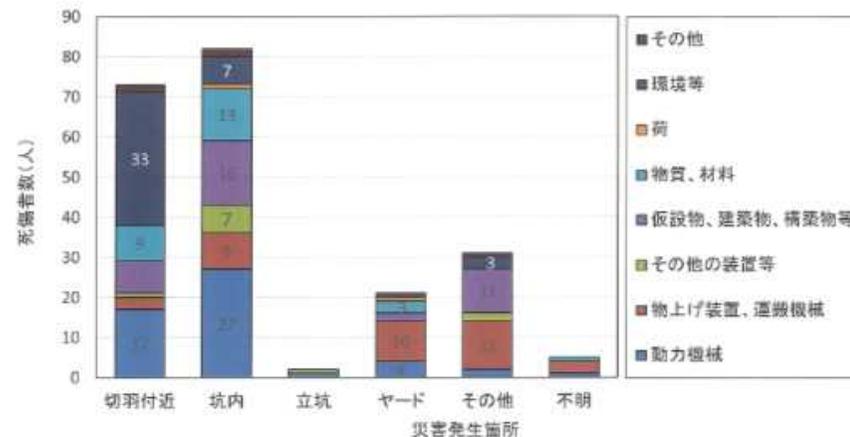
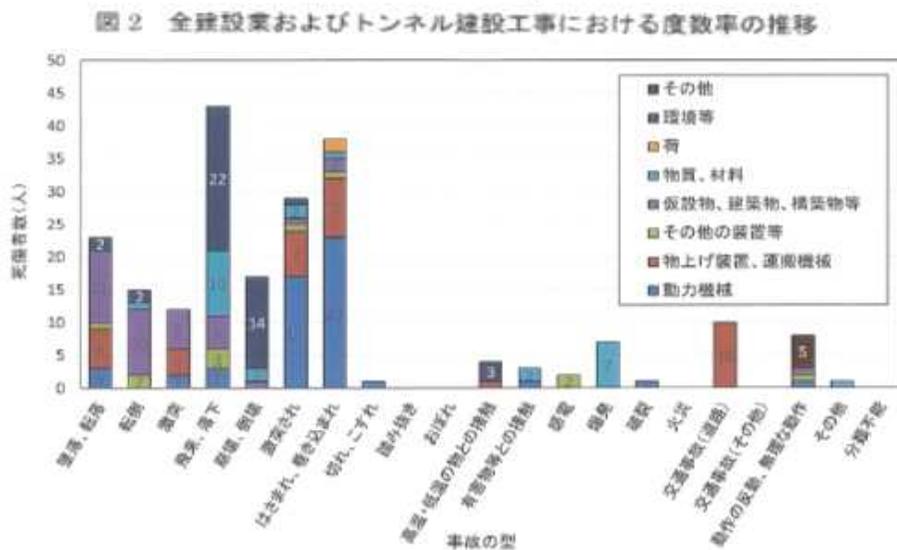
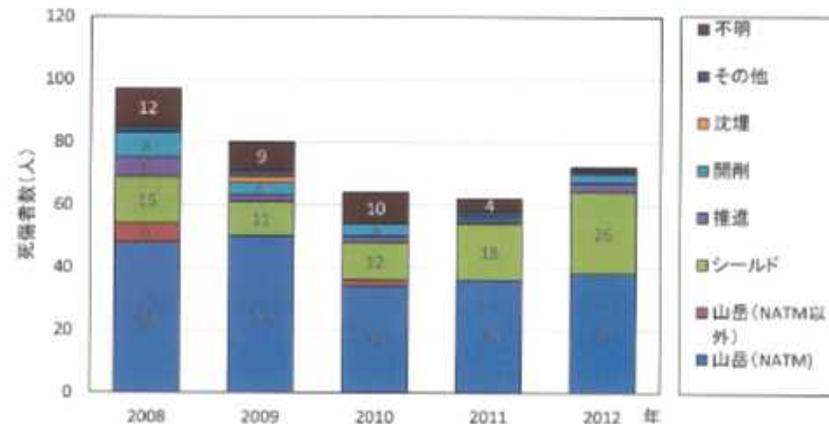
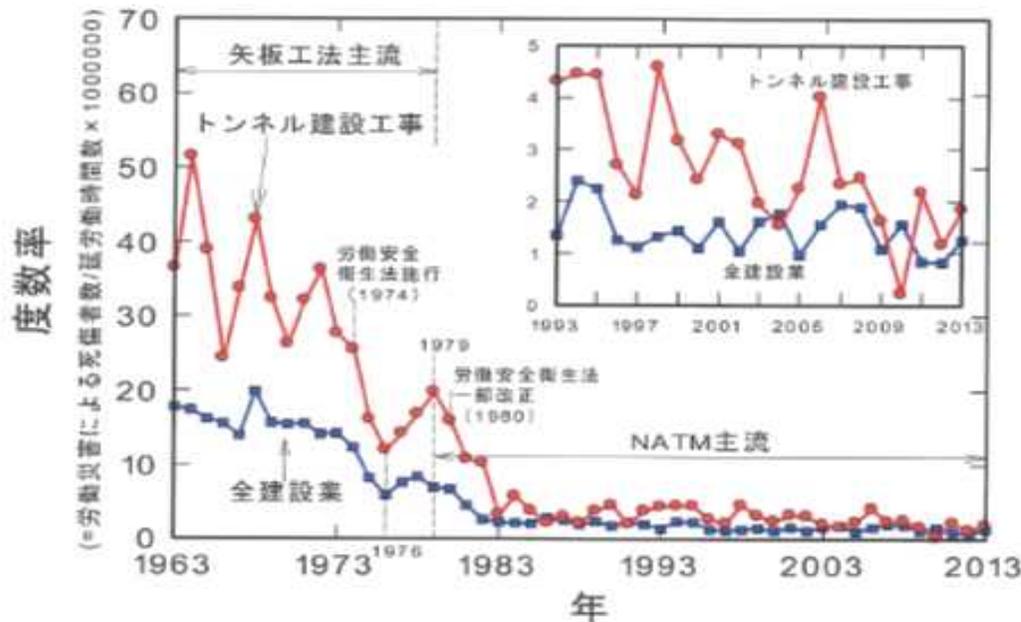


図6 山岳工法における事故の型と起因物の関係
(2008年～2012年、休業4日以上死傷者数)

図5 山岳工法における災害発生箇所と起因物の関係
(2008年～2012年、休業4日以上死傷者数)